

村長の日記

7月1日（土）

30年以上続いている「キノコ会」。昔は千早地区に住む若い衆の集まりだったが、今ではメンバーの入れ替わりもあまりなく、老人会メンバーの集まりとなった。

ここ10年以上、毎年夏にはフグを食べることが恒例となっていた。今年も、暑気払いのフグ鍋を頂きに香芝へ。かなり遠いが、20年来のお付き合いのオーナーが、旨いフグを食わせてくれる。

昔は帰りのドライバー探しに困ったが、歳を取るに従い酒を飲む人が少なくなり、酒を飲めない人、飲酒をやめた人、私の嫁、3人の運転で帰ってきた。真夏に熱いひれ酒とフグ鍋、暑気払いが出来た。これからの暑い夏を耐え抜こう。

7月2日（日）

B&G 会長杯空大会

例年夏に行われている空手大会。1時から式典と聞いていたので、時間ぎりぎりにアリーナに着いた。かなりの駐車場があるはずなのに、駐車スペースが無い、私の想像より参加者が多いのだ。ガードマンにお願いし、野外活動センターへ。議長車の横へ駐車し会場へ。式典を横で見れていたが、参加者は全てスーツとネクタイ。私はクールビズのシャツ。式典により、着衣を確認する必要がある。

挨拶を指名され「例年 B&G アリーナを使っの大会、村の施設を利用いただきありがとうございます。来年も再来年も、ぜひこの施設をお使いいただきたい。今年参加された皆さんは、来年はさらに心技体ともに、より鍛錬され参加していただきたい。空手も徐々に愛好者が増えることで、オリンピック種目に採用される可能性がある。皆さんも精進していただいて、オリンピックの金メダルを目指してほしい。」

7月3日（月）

金剛自動車 方転地の試運転

金剛バス森屋線は今、森屋のカタロ前で方行転換をして富田林へ折り返しをしている。府道 富田林五條線の通行量が増え、ワンマンバスの方向転換に、バックをして方向転換するのが危険な状態になって来た。安心して方向転換できる場所として、中学校下のバス方転地を使用できないか、金剛バスの試運転車に同乗した。

中学校下の方転地は大型バスが切り返しなしで方向転換できるほど広いし、大型バスが意外と小回りが利くのに驚いた。

村長の日記

事故なく運行できるのなら、この場所を使ってほしい。

7月6日（木）

全国町村会会長選挙

現在、長野県町村長会会長の藤原忠彦氏が全国町村長会会長だが、任期満了により会長の選挙がおこなわれ、熊本県会長の荒木康臣氏が当選した。

7月7日（金）

10:00

大阪府治山治水協会総会

朝8時自宅出発。この時間、富田林→大阪は混雑することが多く、どのくらい時間がかかるかわからない。本来1時間で着くはずが、弁天町のペイタワに着いたのは9時40分。早く出たのが正解だった。いつでも市内まで1時間で行ける町作りが必要。

この協会の会費は、年間の治山工事事業費の額で決まる。1番会費の高い市町村は能勢町、27万円。次いで千早赤阪村、24万円。山の無い忠岡町は会費0、河南町は12万円となっている。府下の治山工事総額は7億6千万円、内千早赤阪分は1億2千万円。おかげで山林崩落事故が少ない。

会長は昨年まで河内長野市長だったが、今年から岸和田市長に変わった。山の多い当村をよろしく。

14:00

富田林保険所運営協議会

保険所のデータによると、管内人口 H23年：32万5千人、H27年：31万4千人、5年間で1万1千人減少している。

村は、H23年：5876人、H27年：5376人、5年間で500人の減、1年に100人減少している。

出生数は、H23年：18人、H24年：25人、H26年：13人、H27年：22人、平均寿命が80歳とすると、せめて60人の出生数がほしい、高齢化が著しい。

管内の死亡原因、1位：悪性新生物(癌)30.3%、2位：心疾患17.6%、3位：肺炎12.3%、4位：脳血管疾患6.3%、

村長の日記

5位：老衰4. 1%、6位：不慮の事故2. 6%となっている。

夕刻

井上前議長 清井前議員 慰労会

清井議員は3年間、井上議員は4年間、議長として村の運営に力を尽くしていただいた。今年の5月8日で、二人は議員生活を終えることになった。

千早赤阪村は財政的に安定状態に入った。若い職員が半数を占めるようになり、一時のアンバランスな職員構成も解消されてきた。庁舎の建設も現在地に建て替えて決まった。後は早く進めるだけの状態となった。清井議員は数字に強く、村の財政再建に力をつくし、安定させていただいた。井上議長は大阪府町村議長会会長・近畿町村会長・中部議長会副会長として、対外的に千早赤阪村のPRに努めていただき、天皇皇后両陛下に園遊会の席上「楠公さんの誕生した千早赤阪」を印象づけていただいた功績は大きい。皇居前広場の大楠公像と共に、日本に楠公さんあり、を皇室にPRしたのは彼しかない。

2人の為に会を開いていただいた、監事の皆さんに感謝。

7月11日（火）

自由民主党大阪府連政務調査会代行 及び 吉村先生 来庁

大阪の新しい大都市制度、大阪政令市プランの説明を受けた。維新の皆さんが現在推進している大阪都構想に対応し、自民党大阪府連は新しい大都市制度、政令市大阪構想を作った。大阪府の権限と財源を市町村へ徹底的に委譲し、政令市並みの権限を有する自己決定の出来る街を作る。

政令市の中に合併ではなく特別区を作り、現在市町村の枠を超え、府を経由しないで国と近く交渉できる状態を作り、ニアイズベター。（住民意近い所で決める状況を作る）

政令市へ向かう工程は

- * 市町村間の意見交換の上、各市町村の実情や機能を調査研究し把握の上、市町村間の連携を協議促進する場を設置。その結果を国へ働き掛ける。
- * 市町村は地域の実情に応じ、府からの権限移譲が可能な機構体制を整備し、実情に合わせて順次大阪府の権限を委譲し、最終的に大阪

村長の日記

府を発展的に解消に持って行く。

現在、大阪市、堺市は国と直接交渉をしているが、他の府下市町村は大阪府への要望ばかりで、府と市町村の責任の所在があいまいであり、要望が実現しないから、毎年同じ要望ばかりとなる。要望行政から脱却し、責任行政へ移行。自己決定のできる町をつくろう。現在、大阪府下の生産年齢(15歳以上65歳未満)は年々減少し、各市町村の役所では専門職を確保できない等、人材不足の時代が来た。超高齢化社会に向けた、新しい大都市制度のプランが必要。

7月12日(水)

朝

裏庭のトマトの手入れ。先週日曜日、皆さんのまねをして雨除けと防鳥網を掛けた所、トマトが1個赤く熟していた。去年の経験からすると、ほっておけば鳥にやられる所だった。雨が上がるとキュウリ、トマトは急に成長する。この調子だと近い内に、山ほどのトマト胡瓜が取れる。野菜を大量に食べれば、体調も良くなる。

9:30

役所を出発、府庁へ。

今日は暑いせいか、松原線の車が少ない。1時間もかからず着いた。

府下各市町村は種々の問題がある。企業立地で成り立っていた市町村では、次から次へと企業離散が起こる。人口減少が継続的に発生し、徐々に町の力を蝕んで行く。大阪府下の市町村は互いに力を合わせ、長期的には合併を考えながら、種々の問題解決に当たろう。そのためには各市町村が集まり協議をすることで、新しい府下の形を作り上げて行こうとの提案があった。村にとっても村を守り続けることは大切だが、高齢化、少子化の中では、はたして単独で存在が可能かを考える時が来たと思われる。

7月16日(日)

5年前、メタボリックシンドローム研修でベルリンへ行ったメンバーの同窓会。

久御山町長、古座川町長は引退。郡山市長、芦屋市長、私は現役で参加した。

奈良県共済組合、桜好きの前川君が例年主催してくれる。彼は4年間郡山市へ金魚研修で勤務していた関係で、非常に金魚に詳しい。特に

村長の日記

金魚でも金魚すくい部門が得意。今日も金魚すくいの紙を1つプレゼントしてくれた。

金魚すくい全国大会が、すぐに郡山で始まる。3分間で金魚を何匹すくえるかが勝負。決勝に参加出来るには、最低でも60匹はすくえないとだめ。例年選手権を取る人は80匹前後らしい。選手権を取れる人たちになると、金魚すくいの紙の上に金魚が3匹~5匹が集まってくる、しかも暴れない。素人は金魚を紙で追うので紙が破れやすいし、しかも紙に乗った金魚は暴れるので、たかだか10匹くらいが限度。

名人は金魚の習性を熟知していると共に、金魚と名人の気持ちが一体化しているので80匹もすくえる。

郡山市長の話では関東にも金魚の街があって、小学校5年生くらいの名人が居る。彼の紙の上には金魚が自然に、おとなしく集まってくる。

中学生の将棋名人がいるように、小学生の金魚すくい名人がいる。日本の将来は大丈夫だ。

7月18日（火）

午前

関西電力地域統括部長 来庁

電気料金値下げの説明。関西電力高浜原子力発電所は3・4号機が運転再開となり、(3号機7月4日より、4号機6月16日より本格運転)火力燃料削減分の電力料金を値下げすることになった。

高浜発電所3・4号機の運転再開による火力燃料削減分および経営効率化により、値下げ後の原価は1兆9,538億円、値下げ前の料金による収入2兆415億円と比較すると、877億円の値下げとなる。原子力発電所が1基が動くと、440億円燃料費との差額が出る。次は大飯原子力発電所の2・3号機が動くと、高浜3・4号機と合わせて4機分で、1,760億円の燃料費が削減できる。

今回の電力料値下げ分は4.29%となっている。大飯が運転開始になると、また4%程度は値下げになる。前提条件として安全が担保できるのならば、ぜひ早く運転再開してほしい。

昨年大飯原子力発電所を見学したとき、構内には大型トラックに積載されたディーゼル排水ポンプ多数、トレーラートラックに積載された大きなディーゼル発電機多数、毎日3,000人を動員して行われていた安全対策がまだ続いているらしいが、近い内に安全だのお墨付きが出る。莫大な安全投資をしても、まだ電力料が値下げできる。原子力はCO²を排出しない。次の世代の新しい、安価な、安全なエネルギー供給システムが出来る間のつなぎとして、原子力発電は必要だ。

村長の日記

7月19日（木）

平成29年度 第2回町村長会総会

石川事務局長就任後、初めての総会。先日就任された濱田副知事の挨拶で始まった。

- * H28年度会務報告
 - * 府町村長会一般会計決算以下 関係三会計の決算認定
 - * 最近の建設業行政 近畿地方整備局建政部長
 - * H29年度 大阪安全なまちづくり推進会議総会結果報告
府警本部犯罪抑止戦略本部長
 - * 基礎自治体機能の充実に向けた研究会の設置 総務部長
 - * 大阪府商工労働政策の説明 商工労働部長
 - * 880万訓練と市町村の災害対応 危機管理鑑
 - * 宿泊税を利用した補助制度 府民文化部長
 - * 2025日本万国博覧会 万博誘致推進室長
 - * サマージャンボ拡売、事務局長の説明
- で終わり。

商工労働部長発言要旨

私は本年4月、公募より商工労働部長に就任した。大学卒業後30年、三井物産に商社マンとして勤務、大阪市の区長に応募。H24年8月から3年8カ月大阪市西淀川区長として、自治体行政を経験。H29年、1年間副首都推進局企画担当部長として、副首都ビジョン策定を推進。副首都進捗には、大阪の産業・経済が要であると痛感、府の商工労働部長に応募した。

大阪の経済を見ると、インバウンドの増加や貿易収支の改善により経済は緩やかな回復基調だが、海外経済の減速・為替の急変懸念など先行き不透明であり、府内企業を取り巻く経営環境は依然厳しい状況である。

府は次の4項目を重点的に取り組んでいきたい。

1. 大阪関西の強みを生かした成長促進

大阪産業の新エンジンとして、新エネルギー産業やライフサイエンス産業の成長促進を図るとともに、府内投資促進補助金や産業集積促進税制を活用し、市町村と連携しながら産業用地の創設にも取り組み、府内外から企業立地による産業集積を促進する。

2. 海外ビジネス展開の促進

アジア諸国を中心とした貿易や海外投資など、府内中小企業の海外ビジネス展開を促進するとともに、アジアを初め海外で活躍するグローバル企業の対日直接投資を促進し、大阪産業の活性化につなげる。

村長の日記

3. 中小企業の頑張れる環境づくり

中小企業の皆様がそれぞれの強みを生かして頑張れる環境づくりに向けて、各市町村との連携を強化しながら経営・技術・資金面に亘る総合的な支援を実施する。

4. 産業人材の確保育成や、府立高等技術専門校等における産業人材の育成を進める

事業継承や様々な問題をクリアし府内企業の底上げを図るには、国や経済界はもとより、各市町村と同じベクトルを向いて協力が必要。

7月20日（金）

森林組合の皆さん来庁

前能勢町長の中さん、井関さん、2人の副組合長、伏井さん、河内長野支店長の堀切さん。

千早赤阪村庁舎をぜひ木材で建設してほしい。「大阪府にも林業がある、ぜひ千早赤阪の木を使って建設してほしい」との申し出を受けた。村の庁舎は「くすのきホールを除却するのはもったいない」のコールから紆余曲折を経て、現庁舎建て替えの結論になった。これから基本設計を行い、どのような庁舎を建てるかを検討する段階になっている。現在のコンセプトは、“住民の利便性を第1に考えた、コンパクトで簡素な建物”を目的にしている。

「皆さんの思いを十分に取り入れた、出来るだけ簡素なカッコいい庁舎にしたい。」村の庁舎は50年経過して、かなり痛んでいる。新築するからには、1600年経過している法隆寺は別格としても、100年はもつものにしたい。それと共に、庁舎機能も100年はもつものにしたい。行政の形が今のまま10年は持つとは考えにくい。どのような形に変化しても、柔軟に対応できる庁舎を作りたい。基本設計の段階で皆さんの思いを形にできるとは思えないが、出来るだけ皆さんの思いを取り入れた、いい形を作るスキルがある業者を選びたい。国は、森林環境税を近い内に具体化する状況になって来た。森林組合も十分に吸収源対策としての森林環境税ととらえるだけではなしに、林業の活性化対策としてとらえてほしい。木材を大量に消費するには、バイオマス燃料として燃やすのも1つの方法だが、やはり木材として利用したい。千早の森は早く手を打たないと、すべて藪になる。村は日本一の間伐補助を行っている。森林組合も村に協力して、千早の山では良い木が取れる、大径木が取れる山にしてほしい、とお願いした。

村長の日記

7月24日（月）

ESCO提案審査会

ESCO(Energy Service Company 民間業者が施設・設備の改修に当たり、企画・設計・施工維持管理を包括的に行い、省エネ効果を保障する事業) 千早赤阪村は昭和30年代以降、庁舎や保健施設、公共建築物を整備してきた。各施設とも老朽化が進み、そのまま放置しておくとも更新費用が増大し、財政運営や施設運営に大きな支障が出る。

電気冷蔵庫、エアコンなど電化製品では、旧式な製品よりはるかに効率の良い新しい製品が出回ってきました。くすのきホール、保健センター、いきいきサロン等のエアコンも、経年劣化とともに既に耐用年数に達したものの、あるいは耐用年数を経過したものもある。最近エスコ事業を導入した団体の傾向からすると、ほとんどの団体が20%を上回るエネルギー削減を果たしている。村では年間約2000万円を超える電気代を支払っている。20%の削減効果があると、年間400万円を超える経費削減となる。

今回はエスコに精通した公認会計士の先生、府立大学エネルギーシステム工学研究室の先生、府住宅街づくり部公共建築室設備課長、及び清水副村長による審査会を設置し、村のエスコ事業担当業者を選定することになる、第1回目の会議。

エスコ事業を推進するにあたり国より補助金があり、補助事業としてエネルギー効果を推進し、経費削減を行う。財政的に効率の良い村を作る。

7月25日（火）

千早赤阪村 中学生海外派遣壮行会

今年も夏休みとなり、中学生をオーストラリアへ送り出す日が近くなってきた。今年が第4回目となる。海外派遣の始まりは、村のように少子高齢化が進み保守的な安定志向の所では、なかなか子供たちが外の世界と接することが出来ない。中学校のクラブ活動では、陸上競技が元気だ。プラスバンドがかなり元気になった。やはり外の世界を感じると子供たちが変わる。私の子供2人もホームステイの経験がある。子どものうちにホームステイを経験させたいと思い、海外派遣事業を実行した。

昔は関空よりブリスベン、シドニー便があったのだが、村の派遣事業を始めた頃には既に関空→オーストラリア線がクローズされており、シンガポール経由で行く以外なかった。私も同道したのだが途中シンガポールで5時間の待ち時間があり、子供たちが時間をつぶすのが大変だった。翌年から羽田→ブリスベン便を使うようになり、生徒の負担がかなり楽になった。いつも出発、帰還時に同席することにしてい

村長の日記

るが、出発するときは硬い顔をしているが、帰って来たときは見違えるように元気でさわやかな顔をしている。村へ帰った安心感と共に、達成感があるのだろう。ぜひ、1人でも多く参加してほしい。

今日の壮行会には、男性6人、女性2人。出来ればもう少し多くてもと思うが、参加者が1人でもこの事業は続けたい。中学生の海外研修には、府も国も補助が無い。一部保護者の負担を頂くが、あとは村単独の費用だ。しかし、少ない子供たちのために出来ることはやりたい。挨拶の最後に

Let's be active and an interest in everything. Talk with many people. Don't be afraid at talking. Keep on trying. Have a nice trip! Thank you.

7月26日（水）

絵本と私の物語展

創価学会「絵本と私の物語展」富田林実行委員会主催

10:00

富田林すばるホール着。11時開会だが少し早く着いた所、河南町長が既に到着。村の井上議員は臨時議会の議会運営委員会の為遅れることになっているが、奥さんが接待掛を担当、ご苦労さん。

創価学会のリーダー皆さんが次から次へと参会。富田林の県庁、南大阪総県庁、大阪長、副会長、学会の皆さんがいかにかこの展覧会を重視しているかがわかる。多田市長によると、この展覧会は全国で4番目、大阪では初めて。

有名な3匹の子豚の話だが、絵本だけで50~60冊、ストーリーも本によって違う。絵本も大変だ。

絵本は子どもの物と思っていたが、現在では多くの大人向け絵本が出版されて、スマホの時代ながら中高生や高齢者への読み聞かせがたいへん流行している。

16:00

万国博覧会 議員総決起大会

開会に際し二階幹事長から。各界、各層に於いてもぜひ万博を大阪へ、国も安部総理以下全力を挙げてバックアップしている。フランス、ロシア、アゼルバイジャン、すべて強力な相手ではあるが、勝てる見込みは十分ある。ぜひ全員力で2025年万博を勝ち取ろう。

村長の日記

松井知事。国際的に大阪の魅力を発信中、ぜひ大阪を今一度盛り上げてほしい。
各議員皆さんの力を信じて、会場を後にした。

7月28日（金）

朝6時起床、今日は忙しい日になる。

9:00

近畿国道協議会役員会

H28年度決算、H29年度予算を了承。

H29年度会長は福知山市長、副会長は敦賀市長、及び豊岡市長に決定。

この会は、福井県17市町、滋賀県10市町、京都府25市町、大阪府41市町村、兵庫県40市町、和歌山県30市町村で構成されている。

役員は輪番制で、大阪府は副会長：平成34年～平成37年、会長：平成38年、39年となっている。

9:30

近畿国道協議会総会

H28年度事業報告、決算、H29年度事業計画、予算了承の後役員選任。福知山市長が会長となる。

洲本市長、総会決議を朗読の後全員了承して閉会。

10:30

総決起大会

姫路市長の司会で開会、会長挨拶のあと来賓紹介。国会議員のショートスピーチ(本人のみ40人以上、代理出席30人以上)

来賓の最後に、国土交通省道路局長、近畿地方整備局長挨拶。

意見発表、長浜市長、河内長野市長。

河内長野市長は「大、南、高」大阪南高速道路の早期事業決定を。大阪の阪和道と京奈和道の間、大阪のチベットと言われる大阪南河内地方の道路インフラ不毛地帯解消を力強く述べた。

最後に参加者全員で「頑張ろうコール」決起大会大会終わり。

村長の日記

11:40

大阪国道連絡会主催意見交換会

竹中会長挨拶のあと、ショートスピーチ、衆議院議員 伊佐進一、石川博崇、長尾敬、竹本直一先生が参会いただいた。

国交省から近畿地方整備局長、道路防災対策室長 2 人の出席を頂いた。

意見としては、岬町田代町長から社会資本整備総合交付金の現状維持、あるいは増額の意見があった。

第 1 議員会館で昼食の後、13 時 30 分より陳情活動。

財務省、主計局次長へ要望。国土交通省、技官、道路局長、官房審議官外 10 数人の課長さんへ挨拶をし、5 時過ぎの新幹線で帰阪。

7 月 31 日 (月)

百舌鳥古市古墳群世界遺産国内登録結果発表会

府庁 5 F、正庁の間、15 時 30 分到着。

今日は 1 番乗りの到着だ。やがて堺市竹山市長、羽曳野市長、藤井寺市長 他、経済界代表が着席後、知事が着席、最後に桂文枝師匠が着席。4 時丁度にセレモニー開始。

最初松井知事が演壇に立ち「百舌鳥古市古墳群はユネスコに提出する世界遺産の国内候補に選ばれました。」

久しぶりに満場割れんばかりの拍手を聞いた。しかも中々なり止まなかった。

私は去年皆さんと一緒に文化庁へ陳情に行ったが、長崎に敗れた。今年は大楠公で日本遺産とがんばっていたが、これもダメ。やっと世界遺産の国内予選で勝つことが出来た。31 年のユネスコ総会に向け、日本代表になった現場に立ち会うことが出来て、非常に楽しい気持ちになった。最近政治の世界は森友学園に始まり、防衛省、加計学園、ネガティブな話が多かったが、これで大阪にも良い話題が出来た。是非ユネスコの世界遺産に選ばれてほしい。大阪に世界遺産があればインバウンドを取りこめるだろうし、羽曳野、藤井寺、堺も世界一の古墳で有名になる。

セレモニーのスピーチで文枝師匠が「今年世界遺産の富士山に登ってきました、頂上の浅間神社に祈ってきました、その願いがかなって世界遺産に選ばれました。」